

蔵内数太教授略歴および主要著作

< 略 歴 >

- (1) 明治29年8月1日岡山県に生まれ、第六高等学校大学予科を経て東京帝国大学文学部入学、大正9年7月卒業、つづいて同大学院入学、11年7月満期、昭和22年10月文学博士(東京大学)
- (2) 昭和8年11月九州帝国大学助教授社会学講座担任、10年11月教授、21年3月依願退官、23年11月大阪大学教授、26年4月—29年3月関西学院大学兼任教授、35年3月大阪大学退官、同4月同名誉教授、関西学院大学教授 42年3月関西学院大学退職。現在追手門学院大学教授。

< 著 作 >

- (1) 知識社会学(昭和7年2月)、文化社会学(昭和18年4月)、文化と教育(昭和23年2月)、社会学概論(昭和28年6月)。
- (2) 社会学(昭和37年5月、昭和41年4月増補版)、社会学的ということ(関西学院大学社会学部自治会紹介誌、昭和36年5月)、日本における社会学の成立(関西学院大学社会学部紀要2号)、社会変動の体系的考察のために(同4号)、維新前後における備中一名主の生涯(同5号)、言語接触の問題と故春日博士の古訓点の研究(同7号)、全体社会の文化型と体制変化について(同9、10号)。